

サステナ経営検定3級第22回試験解答解説

[2026年5月24日実施] サステナ経営検定委員会/株式会社オルタナ

問題1 「サステナ経営」の定義である次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト：Chapter 1.1 サステナ経営の定義と目的

問題2 「SDGs とサステナ経営」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

ア：経済的不平等の是正だけではなく、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処するための取り組みである。(12 ページ) ウ：2000年に採択されたアジェンダはMDGsで、課題としてアフリカの特別なニーズなどが挙げられた。SDGsの採択は2015年の9月である。(12 ページ) エ：法令順守ではなく、長期にわたる持続的なビジネスを視座に置き、ビジネスとして収益の確保に取り組むことが重要である。(13 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.2 SDGs とサステナ経営

問題3 「サステナ経営の世界潮流」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ア

イ：追及された結果、シェルは海洋投棄を断念することになった。(15 ページ) ウ：労働・人権問題が発覚した東南アジアの工場は、ナイキの直営ではなく、委託先の工場である。また、ナイキが追及されたのは「法的責任」ではない。この件は、企業責任として、委託先の労働環境や人権問題にも配慮しなければ、加担者として取り扱われて「社会的責任」を追及されることを教えてくれた事例である。(15 ページ) エ：ライツホルダーへの影響も考慮することが企業に求められるようになってきている。(15 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.3 サステナ経営の世界潮流

問題4 「大企業と中小企業のCSR」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

制約が大きくても、NPOなどと協働する「コレクティブ・インパクト」や社外の知恵を活用する「オープンイノベーション」など、NPOやプロボノ、他企業との連携によってシナジー効果を引き出すことで、興味深い取り組みが可能になる。(17 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.4 大企業と中小企業のCSR

問題 5 次の文章のうち、江戸時代の思想家・石田梅岩の教えではないものはどれか。

正答：ア

梅岩の教えではなく、士農工商の最下位に位置付けられた商人を武士たちがさげすんで言った内容である。(18 ページ)

公式テキスト：COLUMN 1 伝統的な日本型 CSR の精神

問題 6 「コンプライアンスの本質」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：関係法令の順守は「最低限の義務」で、「社内規範の順守」や「社会規範の順守」も重要である。

(20、21 ページ) イ：国際的イニシアティブもコンプライアンスの範疇に含まれる。(21 ページ) エ：ハードローではなくソフトローである。(21 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.5 コンプライアンスの本質

問題 7 「サステナ報告書の役割と現状」に関する次の「GRI スタダード」についての記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 1.6 サステナ報告書の役割と現状

問題 8 「ISO26000」の7つの原則に含まれていないものを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 1.7 ISO26000 とは何か

問題 9 「国連グローバル・コンパクト (UNGC)」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ナショナリズムではなく、グローバリゼーションの負の側面が目立ち、過激な反グローバリゼーションの動きが出てきたことである。(26 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.8 国連グローバル・コンパクト

問題 10 「ESG 投資／サステナブル投資」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ポジティブ・スクリーニング手法ではなくダイベストメントである。(28 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.9 ESG 投資／サステナブル投資

問題 11 「地方自治体の SDGs 政策」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：イ

「SDGs 未来都市」は、正しくは、全国の自治体の模範となる SDGs 達成への取り組みのモデル事例を創出するための制度である。(30 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.10 地方自治体の SDGs 政策

問題 12 「企業と社会の関係性」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

消費者の自己責任論ではなく、企業の社会的責任論である。(3、35 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.1 企業と社会の関係性

問題 13 「社会における企業の役割」に関する次の記述のうち、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

2：バリューチェーンにも企業の責任は及ぶ。(37 ページ) 4：元をたどれば企業の経済活動に関係してくるため、企業には社会的責任が期待されている。(36、37 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.2 社会における企業の役割

問題 14 「ステークホルダーとは何か」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ア

イ：地域社会も含まれる。(38 ページ) ウ：継続的な意見交換や対話の場を設けるなど、ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションが重要である。(38-39 ページ)

エ：「既存のステークホルダー」ではなく「代理のステークホルダー」である。(39 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.3 ステークホルダーとは何か

問題 15 「企業に求められる対話力」に関する記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：社会の期待や価値観の変化を受け入れるという点では、本質は同じである。(41 ページ) イ：一方的な説得ではなく、異なる価値観を相互に受け入れながら、解決のための落としどころを模索し、「話の着地点」を見つけることが重要である。(41 ページ) エ：法令などの規制は、その時々での社会の価値観を規範化・文書化したものにすぎないため、単純化して、画一的な解決策を見つけるのは難しい。(40 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.4 企業に求められる対話力

問題 16 「トリプルボトムライン (TBL)」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：イ

文化的側面ではなく、経済的側面である。(46 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.6 トリプルボトムラインとは

問題 17 2015 年に採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中心は何か、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 2.7 社会課題と SDGs

問題 18 「気候変動交渉の動き」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

先進国も排出削減が重要であり、対策は十分とはいえない。(77 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.1 気候変動交渉の動き

問題 19 日本の「企業の社会貢献と寄付」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

ア：総額は約 1 兆 2000 億円で、減少ではなく 10 年前の 2.5 倍に拡大している。(52 ページ) ウ：「セルフ・エフォート」ではなく「コレクティブ・インパクト」である。他企業・NPO/NGO・行政・教育機関などと連携し、市民参加も得て地域力を高める視点が重要である。(53 ページ) エ：従業員の社会性獲得や人材育成にも有効性があるとして関心が持たれている。(53 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.8 企業の社会貢献と寄付

問題 20 人権に関する最も基本的な文書である世界人権宣言の第 1 条は「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、尊厳と()において平等である」と定めている。空欄に該当する語句として、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト：Chapter 2.9 ビジネスと人権

問題 21 日本の「社会とつながる働き方」に関する次の文章の空欄に該当する語句・数として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：エ

公式テキスト：Chapter 3.1 社会とつながる働き方

問題 22 日本の「NGO/NPO とは」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 3.2 NGO/NPO とは

問題 23 「企業と NPO が協働する意義」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：エ

ア：「チャリティ型」の協働として位置付けることができる。(65 ページ) イ：役立つという実感を持つ企業は増えている。(65 ページ) ウ：内容によっては本業への貢献になることもある。(64 ページ)

公式テキスト：Chapter 3.3 企業と NPO が協働する意義

問題 24 日本の「ワーク・ライフ・バランス(WLB)」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 3.5 ワーク・ライフ・バランス

問題 25 「プロボノ」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：COLUMN 5 「プロボノ」とは何か

問題 26 日本の「SDGs と消費行動」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：エ

公式テキスト：Chapter 3.6 SDGs と消費行動

問題 27 「企業と脱炭素」に関する次の記述のうち、SBTi (サイエンス・ベースド・ターゲット・イニシアティブ)」の目的として、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ア

SBTi は、企業に対しパリ協定に沿った科学的知見と整合した目標 (SBT) の設定を促す国際的な枠組みである。(79 ページ)

Chapter 4.2 企業と脱炭素

問題 28 「生物多様性」に関する次の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト：Chapter 4.3 生物多様性

問題 29 「世界の貧困と児童労働」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：約 300 万人ではなく 1 億 3800 万人と推計されている。(83 ページ) イ：MDGs は主に開発途上国が対象で、目標数やターゲットの範囲も限られていた。(82 ページ) エ：減少傾向にあったが、2020 年に増加した。2024 年に再び減少したが、課題が顕著なサハラ以南アフリカ地域は依然増加傾向が続いている。(83 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.4 世界の貧困と児童労働

問題 30 「エシカルなビジネス」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：米国ではなく英国に端を発したといわれている。(84 ページ) イ：採択後は「エシカルであることはビジネスの前提」となった。(85 ページ) エ：家庭での消費も 8 倍に成長している。(84 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.5 エシカルなビジネス

問題 31 「フェアトレード」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

世界貿易機関ではなく、国際フェアトレードラベル機構である。(87 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.6 フェアトレード

問題 32 日本の「有機農業」に関する次の記述のうち、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

3：生物多様性維持の効果についての有機農業の優位性に関する研究成果がある。(89 ページ) 4：2022 年に「みどりの食料システム法」として施行されている。(89 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.7 オーガニック／有機農業

問題 33 日本政府が 2025 年に閣議決定した「第 7 次エネルギー基本計画」で見込んでいる 2040 年度の主要な自然エネルギーの電源の割合として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 4.8 自然エネルギーと RE100

問題 34 日本の「障がい者雇用」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

ア：国・地方公共団体などは 2.8%だが、民間企業は 2.5%で、都道府県などの教育委員会は 2.7%である。(92 ページ) ウ：精神障がい者を含めた 3 区分である。(92 ページ) エ：前年より 5.5%増加して過去最高を更新している。(92 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.9 障がい者雇用

問題 35 「ソーシャルビジネス」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

企業(株式会社や合同会社)や協同組合、民間と行政による第三セクター的な事業体によるものもある。(94 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.10 ソーシャルビジネス

問題 36 日本政府が 2019 年に策定した「プラスチック資源循環戦略」の基本原則または目標に該当するものはどれか。

正答：ア

「3R+リニューアブル」の基本原則と「2030 年までにワンウェイプラスチックを累積 25%削減」「2025 年までにリユース・リサイクル可能なデザインに」などの目標が設定された。(97 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.11 サーキュラーエコノミー

問題 37 「海洋プラスチックごみ問題」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：エ

ア：2022 年 4 月から対象 12 品目のプラスチック製品を年間 5 トン以上取り扱う事業者にプラごみの排出抑制が義務付けられた。(99 ページ) イ：2 位はフィンランドではなく、日本である。(98 ページ) ウ：海や海岸から全てを回収することはほぼ不可能である。(99 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.12 海洋プラスチックごみ問題

問題 38 「アニマルウェルフェア」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト：Chapter 4.13 アニマルウェルフェア

問題 39 日本の「LGBTQ」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 4.14 LGBTQ

問題 40 企業や組織が実際の取り組みよりも過大に気候変動対策やサステナビリティを主張して宣伝することを何というか。

正答：イ

公式テキスト：Chapter 4.15 グリーンウォッシュ